

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
01	特定非営利活動法人 沖縄県環境管理技術センター 理事長 名嘉 光男	特定非営利活動法人沖縄県環境管理技術センターは、SDGs の達成に向け以下の 3 つに対して取り組んでおります。 【7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに】 - 当団体は、省エネルギーの推進を通じて持続可能な社会の実現を目指しています。これまでに資源エネルギー庁からの委託を受け、県内外の中小企業・事業者を中心に 150 件以上の省エネルギー診断を実施してきました。診断では、事業者のエネルギー使用状況を丁寧に調査し、照明・空調・生産設備などの具体的な改善提案を行うことで、エネルギーコストの削減と二酸化炭素排出量の低減を同時に実現しています。さらに、省エネセミナーを定期的に行い、企業経営者や従業員に最新の省エネ技術や導入事例を紹介することで、地域全体の省エネ推進力を高めています。 【12. つくる責任 つかう責任】 - 環境省の環境経営システムに関する普及啓発および審査業務を通じて、企業や団体が持続可能な経営手法を取り入れることを積極的に支援しています。特にエコアクション 21 や ISO14001 といった環境マネジメントシステムの普及に注力し、組織が日常的な事業活動の中で環境負荷の低減に取り組めるよう伴走しています。このような取組は、単なる環境対策にとどまらず、資源の効率的利用、廃棄物削減、持続可能な消費・生産の仕組みづくりへとつながっており、企業の社会的責任を果たす基盤づくりにも貢献しています。 【13. 気候変動に具体的な対策を】 - 設立以来、当団体は一貫して地球温暖化防止対策に取り組んでおり、気候変動への対応を最重要課題のひとつと位置づけています。省エネルギー診断は二酸化炭素排出削減を主要な目標としており、地域の事業活動そのものが脱炭素社会の構築に直結する仕組みをつくり上げています。また、2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、行政・企業・市民との連携を強化しながら、省エネセミナーや啓発イベントを積極的に開催しています。これらの活動を通じて、地域社会全体が「自らの行動を変える」きっかけを提供し、持続可能な未来を共に築くことを目指しています。	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
02	社会福祉法人光和会 理事長 宜野座 治男	私たちは、高齢者福祉事業・児童福祉事業という2つの事業を通じて、持続可能な社会の実現（SDGs）に多様な価値観と人材が共生する社会を目指し、積極的な活動に努めます。 【3 すべての人に健康と福祉を】 ・ うちなー健康経営宣言登録 ・ 全従業員に対し年1回の法定健康診断(人間ドック)の実施 ※夜勤従事者には年2回の健康診断を実施 ・ 予防接種の推奨 ・ 働きやすい環境づくり 【4 質の高い教育をみんなに】 ・ 職員へは、階層別に研修プログラムを展開してそれぞれのレベルアップにつながる内容の提供。 ・ 技能実習生など、日本語能力検定を積極的に支援しています。 ・ 施設内へ介護養成校を誘致し、資格取得へ協力しやすい環境を作っています。 【10 人や国の不平等をなくそう】 ・ 定期的に地域住民との交流の場を持ち、地域住民・外国人実習生・日本人職員をお互いに理解する時間を設け、差別や不平等などの障壁の除去に努めています。 ・ 国籍は関係なく、チームとして日々の業務や交流に取り組み一つの目標を達成する場面を創出出来るよう場の提供を促す。 【11 住み続けられるまちづくりを】 ・ 外国人をはじめ、誰もが安心して暮らせる住環境の整備に努めています。 ・ 言語や文化の違いから住宅探しに不安を抱える外国人の方々に対し、多言語対応・生活サポートを行っています。 ・ 外国人実習生には、生活への適応が出来るよう、積極的に関わりを持ちサポートしています。 ・ 沖縄の伝統的な相互扶助の考え「ユイマール」を継承し、地域の助け合いやつながりを大切にする活動を推進に貢献するとともに、地域コミュニティの絆を強めています。	

SDGs の達成に向けた取組

	・施設内の LED 照明化・高効率エアコン導入やエコキュートなど環境に負担が少ない機器を導入しています。 ・ペットボトルや缶の分別回収、マイボトル推奨 【16 平和と公正をすべての人に】 ・日本で生活・就労する外国人の方々が、自立した生活を営めるよう、質の高い日本語教育を受けられる体制作りを実施しています。 ・言語能力だけでなく、日本の文化・社会理解も重視し、地域との橋渡し役を担っています。 ・地域住民との対話や平和教育の推進 ・沖縄が持つ平和への願いや歴史的背景を大切にしながら、すべての人が安心して暮らせる社会の実現を目指します。 【17 パートナーシップで目標を達成しよう】 ・行政と関り、地域で介護や保育に困っている方へ福祉事業として支援が出来る体制を整えることを目指します。 ・行政・教育機関・企業・地域住民と情報を共有・連携し、協働での力で SDGs の達成を目指します。	
--	--	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
03	有限会社 新秀建設 代表取締役 新垣 均	～人材が集い、成長する建設業の明るい未来づくりに貢献します～ 上記の目標を基に SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、次の取り組みを実施いたします。 【3. すべての人に健康と福祉を】 ・全従業員の健康管理のために年1回の健康診断を実施しています。 ・予防接種の推奨。 ・熱中症予防対策として、現場への休憩所の設置、水分補給の促進、塩分チャージの配布をしています。 ・うちなー健康経営宣言登録。 【4. 質の高い教育をみんなに／8. 働きがいも経済成長も】 ・講習や資格取得のための取組を推進し、資格取得に掛かる講習費用・試験料を支給。 ・資格や技術向上による資格手当の支給を行っています。 ・教育委員会や社会福祉法人への寄付。 【7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに／11. 住み続けられるまちづくりを／13. 気候変動に具体的な対策を】 ・環境/品質保全向上に関する取り組みとして、ISO9001 の認定を受けました。ISO14001 の認定へむけて取り組み中です。 ・沖縄県、沖縄総合事務局、うるま市と災害協定を締結しています。 ・休憩所へ太陽光パネルを設置し環境への配慮をしております。 【12. つくる責任つかう責任／14. 海の豊かさを守ろう／15. 陸の豊かさを守ろう】 ・工事現場における廃棄物の分別の徹底。 ・解体工事などで生まれる原材料でリサイクル資材を供給しています。 ・ボランティア活動に積極的に参加し地域の海岸や道路の清掃に取り組んでいます。 【16. 平和と公正をすべての人に】	

SDGs の達成に向けた取組

		・暴力団対策として不当要求防止責任者を選任し、暴力団排除活動を推進しています。	
--	--	---	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
04	株式会社 吉田組 代表取締役 吉田 寛	私共は、総合建設業を通して、「守ろう つなごう 明るい未来」をモットーに地域の発展や環境保全に取り組み、建設業の明るい未来を築く活動に努めています。 SDGs の代表的な取り組みとしては、（工事現場において）環境に優しい機械を導入し、リサイクル資源の活用をしています。本社では、LED の使用やごみの分別等エコ活動に取り組んでいます。 その他、海の環境保全活動として、珊瑚の移植放流活動を支援しています。地球温暖化や海洋生物を守るため、小さな支援が明るい未来へつながるように、今後も継続して行っています。 「守ろう つなごう 明るい未来」の具体的な活動は以下の通りとなります。 【経済分野の取り組み】SDGs ゴール 7, 8 ・環境対策→工事現場で低燃費、低騒音、排出ガスの少ない機械（バックホー、ブルドーザー、タイヤローラー、振動ローラー）を使用し、環境負荷を軽減しています。都市工事や夜間工事にも安心して使用できます。 ・リサイクル資源の活用→建設副産物の発生抑制及び再利用の促進、ゆいくる材の使用を積極的に行っています。 （再生クラッシャーラン、再生粒度調整碎石、再生密粒度アスファルト、正規の処分事業者の利用、マニフェストの活用） ・本社では、紙の使用量を減らすため、裏紙の使用をしています。また、請求書や見積書のペーパーレス化を意識しています。（徐々に WEB 請求書に切り替えている。）また、節電を意識して、社内の照明は LED を使用しています。必要な範囲、必要な時間で電気やエアコンを使用しています。 【社会分野の取り組み】SDGs ゴール 1, 3, 5 ・うちな一健康宣言に登録。 全社員の健康診断の受診（健康診断費用の補助）、禁煙・分煙対策、本社や工事現場でのラジオ体操を行っています。また、夏場の熱中症対策として、現場作業員に空調服の支給を行いました。（全額支給） ・こどもの貧困対策、地域活性化につながる支援。 赤い羽根共同募金や地域の青年会、老人会、体育協会、おまつり実行委員会等、各団体への寄付活動に参加しています。	

SDGs の達成に向けた取組

		・教育訓練の充実。 若手社員の希望者に対し、免許・資格取得の講習を勤務時間内において積極的に受講させています。講座受講、受験費用の全額補助を行い、社員のスキルアップをサポートしています。（車両系建設機械、玉掛技能講習、土木施工管理技士資格等） ・「不当要求防止責任者講習」に参加。 不当要求防止責任者を選任し、暴力のない安全で安心な社会の実現を目指しています。 ・地域の交通安全協会に加入。 飲酒運転根絶、交通安全思想の普及、交通安全管理活動の促進等、安全な社会を目指しています。 ・健康で働く意欲のある高齢者の雇用。 働きがいのある職場作りを目指しています。定年制度を設けず、意欲のある高齢者の継続雇用を推進しています。 【環境分野の取り組み】SDGs ゴール 11, 13, 14, 15 ・地域の草刈りや清掃ボランティアに積極的に参加しています。（毎月 1 回程） （沖縄県建設業協会南部支部、沖縄県緑化推進委員会、沖縄県南部土木事務所、南城市商工会、南城市尚巴志マラソン実行委員会等） ・本社や工事現場にて、ゴミの分別、古紙、ペットボトル、アルミ缶のリサイクル活動に取り組んでいます。 ・ゴミを減らす（水筒、マイカップ、マイ箸の持参等）意識をもち、使い捨てのものはなるべく使用しないように心掛けています。 ・珊瑚の移植放流を支援しています。（業者へ依頼） 珊瑚の移植放流に資金支援の協力を行っています。地球温暖化や海洋生物を守るため、環境保全活動として行っています。	
--	--	--	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
05	琉球熱絶縁機構 株式会社 代表取締役 呉屋 杏里	私たち琉球熱絶縁機構株式会社は、熱絶縁工事で使う断熱材・高性能断熱材を加工することで（保温）や（保冷）の措置をする工事に対し運搬配達時廃棄物を削減し、販売することで CO² 排出削減で温暖化防止に貢献している会社です。 （3 全てのの人に健康と福祉を） ・ 毎年健康診断の受診を実施し、社員の健康で働いていけるように健康管理の維持に努めます。 ・ 社員が快適に働くことができるよう風通しのよい職場環境に整えていきます。 （4 質の高い教育を、8 働きがいも経済成長も） ・ 社員の人材育成のために、社内外で研修を実施し質の高い教育を受けてもらい資格を所得した際には、祝い金を支給し資格所得促進にとりくみます。 （7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、9 産業と技術革新の基盤を作ろう、11 住み続けられる街づくりを、12 つくる責任つかう責任、13 気候変動に具体的な対策を、15 陸の豊かさも守ろう） ・ 琉球熱絶縁機構で製造する断熱材は主にアーマフレックスを中心に製造していきます。アーマフレックスは経年劣化がなく、長期的な省エネで持続可能な世界を実現することが可能です。 ・ 加工・販売を丁寧かつ迅速に行い建築物に対して高気密で高断熱の断熱材を施工してもらうことで省エネルギー化を図っていきます。 ・ 熱絶縁工事をする職人やお客様の声を共有し、保温保冷技術と信用性を SNS など発信していき SDGs の目標を達成させます。 以上の内容が琉球熱絶縁機構による SDGs の取り組み方針となります。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
06	株式会社 RedPro 代表取締役 上原 玲子	SDGs への取り組み 弊社は「人材育成」を目的に事業を展開し、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて積極的に取り組んでいます。 社会に寄与する活動を重視し、以下の事業を実施しております。 ● 視覚障害と音楽教育の課題解決 関連する目標 【3 すべての人に健康と福祉を】 【4 質の高い教育をみんなに】 【10 人や国の不平等をなくそう】 【11 住み続けられるまちづくりを】 視覚障害当事者が求める音楽教育について調査を行い、音楽教育者のスキルアッププログラムを開発。 ワークショップの実施を通じて、高度な教育を受けたい視覚障害者と、応えられる音楽教育者をつなぐ「マッチング事業」を展開しています。 ● 障害者の鑑賞保障を基盤としたイベント企画 関連する目標 【3 すべての人に健康と福祉を】 【10 人や国の不平等をなくそう】 【11 住み続けられるまちづくりを】 【16 平和と公正をすべての人に】 【17 パートナーシップで目標を達成しよう】 コンサートをはじめとするイベントにおいて、障害者の鑑賞機会を保障。 触れ合いの場を創出することで、共生社会に寄与する人材の育成を推進していま	

SDGs の達成に向けた取組

す。

● 多様性を尊重した人材登用

関連する目標

【5 ジェンダー平等を実現しよう】

【10 人や国の不平等をなくそう】

【11 住み続けられるまちづくりを】

【16 平和と公正をすべての人に】

【17 パートナーシップで目標を達成しよう】

事業運営に必要な人材については、国籍・障害の有無・LGBTQ などに関わらず登用を行い、多様性を尊重した環境を整えています。

● 環境への配慮

関連する目標

【13 気候変動に具体的な対策を】

- ・ ペーパーレス化を推進
- ・ LED 照明の使用
- ・ ハイブリッド自動車の導入

これらを通じて、二酸化炭素削減に積極的に取り組んでいます。

● まとめ

弊社は、これらの活動を通じて「人材育成」を核としながら、SDGs の理念である「誰一人取り残さない社会」の実現に貢献してまいります。

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
07	Watasumi 株式会社 代表取締役 デイヴィッド・ジェームス・ウィルポート	W a t a s u m i 株式会社は沖縄科学技術大学院大学（O I S T）で10年以上かけて研究・開発された特許技術を使用した有機排水処理装置の製造・販売を行うO I S T発のスタートアップ企業です。 微生物の力で排水中の有機物の分解とバイオガスの生成が行える微生物燃料電池（M F C）技術で、従来方法と比較して CO2 排出を 90%以上削減、そして処理水の再利用で経済的および環境的に持続可能な方法での排水処理を可能にしました。 W a t a s u m i 株式会社は事業運営を通して SDGs 達成に貢献します。 微生物による有機排水処理システムの開発。排水処理中に生成されるバイオガスを活用することで従来法と比較して CO2 の発生を 90%以上削減します。 ・嫌気性排水処理で、従来の好気性処理のように大規模の曝気を必要としないため、電気代を大幅に削減 ・従来の排水処理に比べて汚泥の量を 2.5～5%に削減できるため、汚泥のトラック輸送回数を減らして CO2 排出量を削減 ・排水中の COD を河川放流が可能な値まで処理可能なため、土壌・河川・海洋汚染の防止に貢献 ・処理水は中水として工場内で再利用が可能 SDG s 6. 安全な水とトイレを世界中に ・W a t a s u m i システムは排水の環境基準値をクリアして河川放流が可能なレベルまで処理が可能 ・環境基準をクリアした処理水で川や海の生態系の保護に寄与 ・処理水は工場敷地内で中水として利用可能 SDG s 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに ・W a t a s u m i システムは排水処理工程で微生物が電気とバイオガスを生成し、システム内で再利用が可能 SDG s 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう ・W a t a s u m i システムは従来の排水処理装置にくらべて省エネ、省スペース、低メンテナンスで離島や途上国でも導入が可能	

SDGs の達成に向けた取組

		SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう ・ W a t a s u m i 株式会社では6か国の国籍の違う従業員が従事 ・ 従業員男女比は1 : 1 SDGs 12. つくる責任 つかう責任 ・ W a t a s u m i システムはこれまで廃棄されていた排水中の有機物をエネルギーに変えて、再利用が可能 ・ 微生物による自然環境にやさしい排水処理 SDGs 14. 海の豊かさを守ろう ・ W a t a s u m i システムによる排水処理で海洋と生態系の保護が可能	
--	--	---	--